

修了評価の方法

評価基準作成者： 中谷 友和

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲 (1)「職務の理解」から(9)「こことからだのしくみと生活支援技術」までとする。</p> <p>2 出題形式 三肢択一問題、穴埋め問題、記述式問題とする。</p> <p>3 出題数 三肢択一問題、25 問(配点 3 点) 計 75 点 穴埋め問題、3 問(3 問×5 点) 計 15 点 記述式問題、2 問(配点 5 点) 計 10 点 全問正解 合計 100 点</p> <p>4 合否判定基準 60 点以上</p> <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <ul style="list-style-type: none">結果発表後、直ちに 1 時間の補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は 60 点以上とする。 補習料：1 時間あたり 2,000 円 再評価料 3,000 円再試験を最大 2 回まで実施する。 再試験の結果、不合格であった者には、さらに 1 時間の補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は 60 点以上とする。 補習料：1 時間あたり 2,000 円 再評価料 3,000 円
------------	--